

## インドネシア水道に係る情報収集 No. 181202W

検索サイト	Google	実施日	2018/12/09	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL: <a href="https://www.eco-business.com/opinion/why-the-rich-in-jakarta-have-better-access-to-water-than-the-poorits-not-the-piped-network/">https://www.eco-business.com/opinion/why-the-rich-in-jakarta-have-better-access-to-water-than-the-poorits-not-the-piped-network/</a>					
<p>標題：</p> <p>Why the rich in Jakarta have better access to water than the poor—it's not the piped network</p>					
<p>題名；なぜジャカルタでは富裕層は貧困層より水利用が容易なのか→水道が原因ではない。</p> <p>初めに；開発途上国の不平等の課題に取り組むためには、地上の状況を厳しく見極める必要がある。分析に当たって、ヨーロッパの経験と理論を安易にベースにすべきではないと専門家は主張する。</p> <p>ジャカルタでは、富裕層は貧困層より容易に清浄な水の利用ができる。このような、健康、教育、所得に影響を与える不平等の根絶が課題。この水利用の不平等の克服は、SDG s の課題であり、世界的に解決すべき問題。</p> <p>内容：</p> <p>★ジャカルタでの水利用における不平等の原因は何か？</p> <p>1. 水道が犯人？</p> <p>しばしば、学者やジャーナリストは、その原因として、上水道を挙げる。（水道がジャカルタを“分断”し、固定化している。）</p> <p>しかしながら、貧しい住民は水道に接続していないのは事実だが、一方富裕層も水道を利用していない（富裕層は深層地下水をポンプで汲み上げて使用している）。ジャカルタ市民は水の60%を水道ではなく、地下水に頼っている。（年間必要量；10億m<sup>3</sup>のうち、6.3億m<sup>3</sup>）</p> <p>2. 水道の枠を超えて</p> <p>ヨーロッパの都市は上水道を水の主要な（又は唯一の）供給元としており、今まではそれをベースにジャカルタの状況を分析していた。しかしながら、ジャカルタの水利用の不平等を説明するためには上水道だけを見るのではなく、地下水、下水、及び水道の流れを精査することが必要である。</p> <p>筆者は、多様な水の流れと水利用、及び異なる社会集団への影響を調査した。その結果、富裕地域での深層地下水の過剰揚水と、貧困地域での浅層地下水の塩化との</p>					

間に関係があることを見出した。

3. 富裕層・貧困層間の水利用の不平等は、健康、教育、所得にも影響する。

富裕層の住民は、強力なポンプで地下水を汲み上げ、そのため地盤が沈下する。

地盤沈下は、洪水の頻度を増加させ、そのたびに、沿岸地域の上下水道を汚染する。

貧困層の多くはそのような地域に居住し、洪水や質の悪い水の影響を受けているが、彼らには、浄水器の設置やペットボトルの購入のためのお金がないことが多い。

一方、富裕層や企業は水道に接続はせずに、強力なポンプで地下水を汲み上げて使用する。その結果、彼らのお金は、水道へは流れない。

ジャカルタの水の不平等は、水道という枠を超えている。

4. ヨーロッパが世界ではない。

様々な都市の課題を説明するのに、ヨーロッパの都市の経験をベースにすべきではない。水や自然が管理されていない発展途上国では、貧困層が環境災害のリスクにさらされている。

水利用の不平等を減らすためには、水道の枠を超えて検討し、より意味のある政策を導き出す必要がある。

備考；